

ホストタウン横連携事業「ドイツウィーク」の開催

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けドイツ応援の機運を醸成するため、ドイツ連邦共和国をホストタウン国として登録している自治体(一部)と協力し「ドイツウィーク」を開催する。主催はドイツ横連携会議。本市も様々な取組みで参加する。

【ドイツ横連携会議】

ドイツをホストタウン国とする自治体間で連携して、情報共有を行うとともにドイツ応援機運醸成を図る組織。各自治体が共通の取組みを進めることで、より一層のPRを可能とする。

登録自治体 (24自治体)


岩手県雫石町、山形県東根市、山形県鶴岡市、群馬県沼田市、千葉県旭市、東京都青梅市、東京都文京区、新潟県上越市、山梨県山梨市、愛知県豊橋市、岡山県真庭市、徳島県、徳島県鳴門市、徳島県那賀町、福岡県北九州市、福岡県田川市、長崎県、長崎県島原市、熊本県熊本市、宮崎県、宮崎県宮崎市、宮崎県延岡市、宮崎県小林市、豊岡市

1 ドイツウィーク

(1) 期間

2021年1月25日(月) ～31日(日)

ドイツウィークロゴマーク

	<p>(コンセプト)</p> <p>ホストタウン自治体の山・海・川を有する豊かな土地・文化とドイツと日本の国旗を合わせたフラッグが穏やかにたなびく様を表現。ドイツ最高峰のツークシュピッツェをモデルとした山から、新しい1日の訪れを知らせる太陽が登ってくる、明るい交流の訪れを示している。</p>
---	--

(2) 参加自治体

10自治体

岩手県しづくいしちょう雫石町、群馬県沼田市、東京都青海市、新潟県上越市、愛知県豊橋市、岡山県真庭市、徳島県、徳島県鳴門市、徳島県那賀町、豊岡市

(3) 本市の取組み

ア 小学校出前授業(ドイツ紹介)

本市のCIR(カリナ・ポランスキ氏)が、市内の小学校(田鶴野、奈佐、港西、静修、弘道)で、ドイツ文化を紹介し、ドイツ語による挨拶や自己紹介の仕方などの授業を行う。また、ドイツボートチームへの応援メッセージ動画を作成し、ドイツボート連盟に授業風景写真とともに送付する。

イ ドイツ風料理の学校給食

2月4日、豊岡給食センター管内の小・中学校で、ドイツ風の料理給食を実施する。

ウ 図書館にドイツ紹介コーナーの設置

ドイツを紹介する本をまとめたコーナーを設置する。

エ ドイツ国旗の掲揚

市役所本庁舎の掲揚柱にドイツ国旗を掲揚する。

オ 参加自治体との事業

ドイツウィークに参加する10自治体と共同し、日本古来のおもちゃをモチーフにした「大型替わり屏風」を作成する。

(7) 市民らとの共同作業

- a 小学校出前授業を受ける児童らに、桜の花びらを型取った和紙(100枚)に市章スタンプを押してもらおう。
- b 各自治体が花びらを持ち寄り、替わり屏風に貼り付け、大きな桜の木の図柄を完成させる。

(4) 活用方法

2021年2月20日開催予定のホストタウンサミットで披露。その後、参加自治体間でキャラバン形式の移動展示を行う。

《大型替わり屏風》

替わり屏風は、江戸時代から続く「江戸からくりおもちゃ」の1つ。「ぱたぱた」とも呼ばれている。



大型替わり屏風（イメージ）



5cmまたは7cm

市章スタンプを押した桜

カ ドイツ総領事館との連携事業

ドイツを紹介する資料(大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館から提供)をもとにポスターを作成する(図案は検討中。「別紙1」の一部をポスター化する)。

キ 市役所食堂でドイツ風料理の提供

市役所2階の食堂「楽々庵」で、ドイツ風料理(日替わり定食)が登場する。

2 その他の取組み

(1) ホストタウンフレーム切手の発行

日本郵便㈱が、ホストタウンフレーム切手300部を発行する(1シート:84円切手×5枚)。3月上旬、市内の郵便局、東京中央郵便局、郵便局のネットショップで販売される(「別紙3」参照)。

(2) ドイツ応援ポスターの作成

ドイツをホストタウン国としている全国24の自治体でポスターを作成する。今月から1カ月間、市内の郵便局で掲示する(「別紙2」参照)。

〔問合せ〕 豊岡市地域コミュニティ振興部
スポーツ振興課 Tel 0796-21-9023

